

議会運営委員会閉会中所掌事務調査報告

調査地…静岡県藤枝市

調査事項…

- ◆議会改革への取組について
- ・決算特別委員会による事業評価
- ・常任委員会（市長提言）
- ・予算特別委員会の流れ

調査期間…

令和5年1月25日(水)～26日(木) 2日間

藤枝市議会の議員定数は22人で、議会活動の活性化に向け、新たな視点に立った議会改革に取り組み、平成22年度から決算特別委員会を設置、その審査結果を議会から行政へ伝えていく働きとして、主要事業の成果に議会の事業評価を加え、行政に対して提言を行っています。また、開かれた議会づくりの一環として「議会タウンミーティング（議会報告会）」をいち早く開催し、令和2年度には通年議会を導入するなど、議会改革における先進地であります。

藤枝市では、議会も組み込まれたPDCAサイクル（計画⇒実行⇒評価⇒改善）により行政評価を行う仕組みが確立されており、議会においても市民目線での積極的な議会運営がなされ、本市議会の議会運営においても、大いに参考となりました。



議会広報等調査特別委員会事務調査報告

調査地…埼玉県寄居町・東京都あきる野市

調査事項…

- ◆議会だよりの編集について
- ・発行までの流れ
- ・委員の役割分担
- ・議会だより作成に当たって心掛けている点等

調査期間…

令和5年2月7日(火)～9日(木) 3日間

寄居町議会広報紙「お元気ですか寄居議会です」の編集方針は「読まれない議会だよりに出す意味なし！」を掲げ、議員全員が同じ想いで紙面作りに取り組んでいました。全国町村議長会広報コンクールにおいて常にコンクール上位にあることから、議員全員が広報紙編集に対する意識が高いと感じました。

あきる野市議会だよりは平成23年、リニューアルの必要性を感じ、議会全体の課題として話し合いを続け、取り組んだ結果、平成25年2月発行号からリニューアルの運びとなりました。表紙のタイトルを「議会だより」から「ギカイの時間」とし、掲載内容も大きく変え、読み手に息苦しさを感ぜさせないホワイトスペース（余白を作る）を設け、「手に取ってもらえる表紙づくり」、「表現方法や読みやすさの工夫」、「興味を引く特集」等に取り組まれています。

2市町は、広報広聴委員会で、広く一般の方の意見や要望等を聴いて広報紙に掲載されており、また、委員会構成は期数の長い議員が多く、広報紙作りに真摯に取り組む姿勢と熱意を感じ、市民に議会広報紙を手にとって読んでもらうには、どのように編集を行うべきか多くのことを学びました。

